



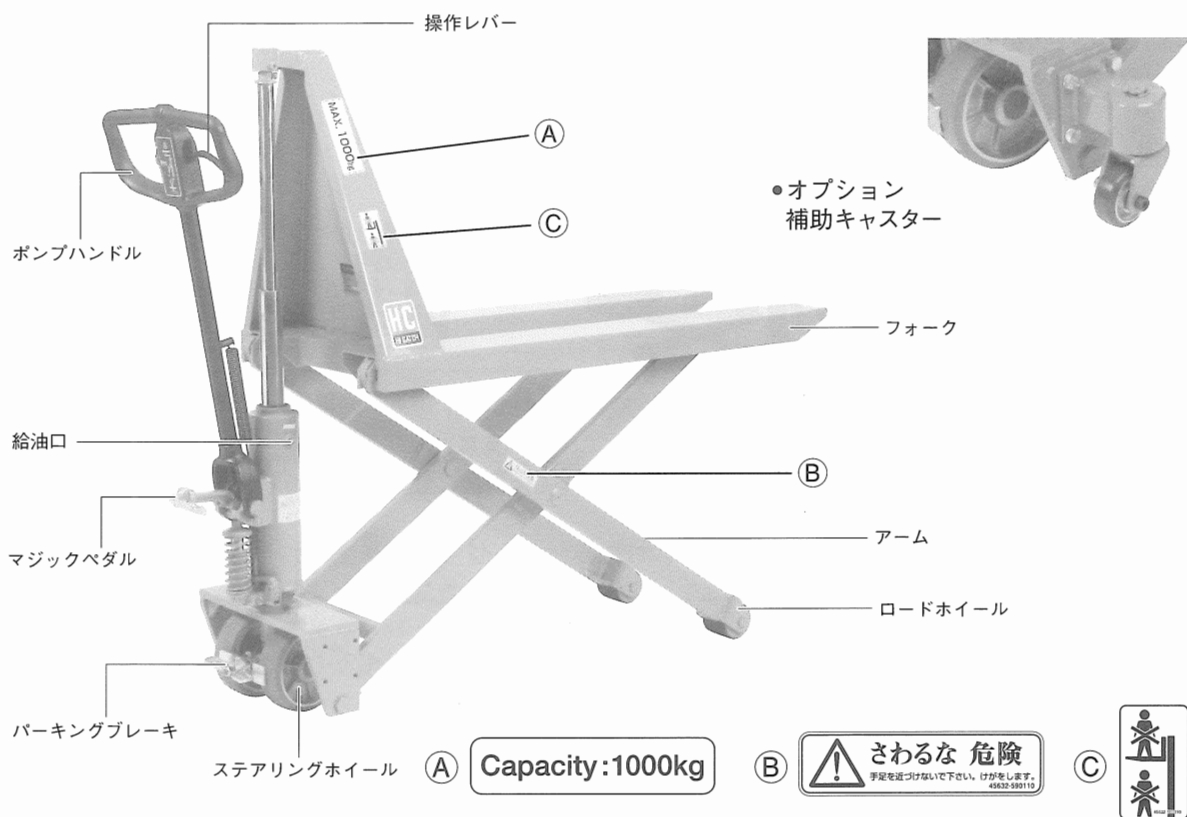
ハイキャッチ

取扱説明書

HC-10A-45
HC-10A-70
HC-10B-45
HC-10B-70

このたびは、ハイキャッチを、ご購入いただきありがとうございます。
この取扱説明書には、安全にお使いいただくための正しい操作方法と、より長くご使用いただくための手入れの方法を説明してあります。ご使用前に必ずよく読み、よく理解したうえで、正しくご使用ください。取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。取扱説明書や警告ラベルを紛失された場合は、購入店にてお求めください。

■ 各部の名称・仕様



■ 製品の仕様

仕様 型式	能力 (kg)	最低位 (mm)	最高位 (mm)	フォーク(mm)				全長 (mm)	全高 (mm)	ステアリング ホイール φ×幅(mm)	ロード ホイール φ×幅(mm)	ポンプ 回数 (回)	自重 (kg)
				長さ	ロード センター	外幅							
HC-10A-45	1,000	85	450	800	500	520	1,280	1,200	180×60	80×73	ステレオ ウレタン	40 (15)	113
HC-10A-70			700	1,070	600		1,550					86 (36)	130
HC-10B-45			450	800	500	685	1,280					40 (15)	121
HC-10B-70			700	1,070	600		1,550					86 (36)	136

※ 〈 〉 は早揚りです。



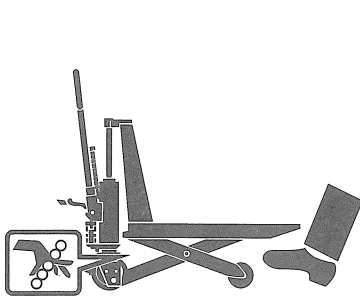
株式会社

をくだ屋技研

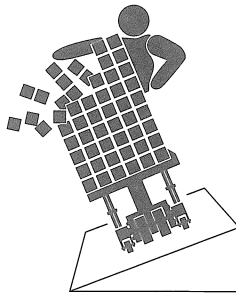


警告

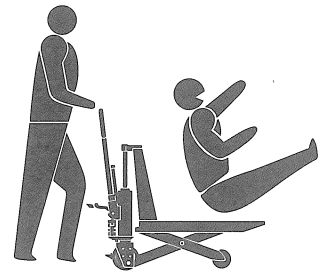
操作方法を誤ると、機械の転倒や、貨物の落下などによる重大な人身事故発生の恐れがあります。



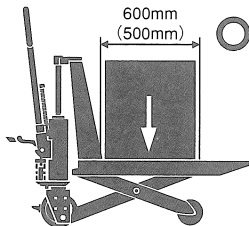
- フォークの下は危険です。
フォークの下やアームの中に手足を入れてはいけません。



- 傾斜、段差、凹凸のある路面や軟弱な路面では使用できません。

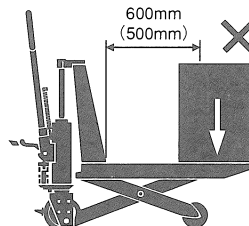


- 乗車禁止
フォークや貨物の上に乗ってはいけません。

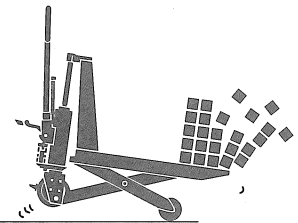
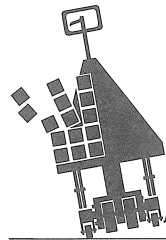


- 積載は1トン以下

1トン未満であっても荷重の中心(ロードセンター)が
HC-10A-45/HC-10B-45は500mm
HC-10A-70/HC-10B-70は600mm以上になると
許容荷重オーバーです



- 荷重の中心は600mm (500mm)以下



- 偏荷重、集中荷重はダメ
フォークの先端や片側に荷重を集中させてはいけません

操作方法

1 フォークの上昇と下降

操作レバーを上昇の位置(UP)まで下げてポンプハンドルを前後に繰り返す漕ぐとフォークが上昇します。操作レバーをゆっくり下降の位置(DOWN)まで引き上げるとフォークは下降します。

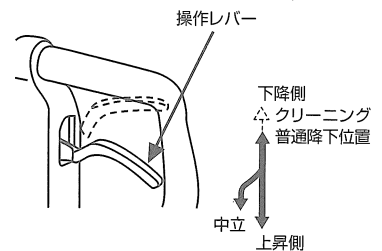
2 早揚げ装置 (マジックペダル)

軽い負荷(50kg未満)のときはマジックペダルを踏むことでポンプハンドルに比べて2.5倍のスピードで上昇できます。(重い荷物のときには使用してはいけません)

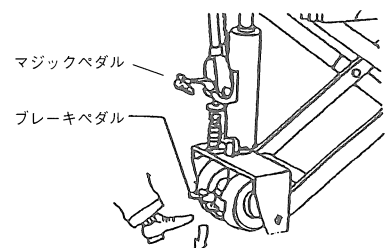
3 パーキングブレーキの使用

ポンプハンドルやマジックペダルを使うときはパーキングブレーキをかけます。ステアリング車輪が固定されリフト操作がしやすくなります。駐車時にもブレーキをかけておきます。

● 操作レバー



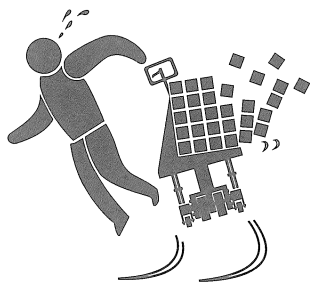
● マジックペダル/ブレーキペダル





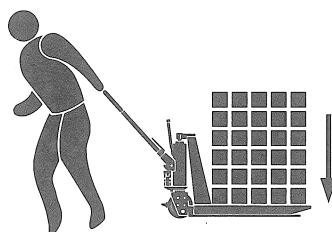
注意

操作方法を誤ると、人身事故の発生の恐れがあります。



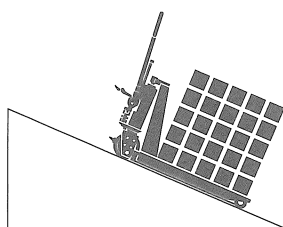
● 急旋回はダメ

荷崩れや転倒の危険性がありますから旋回は慎重に。

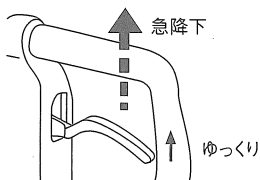


● 重心を下げて運搬

フォークはできるだけ低くして運搬すると安全性が増します。



● 坂道での駐車はダメ



● 下降操作はゆっくりと

操作レバーを引くときは急降下しないようゆるやかに引きます。
操作レバーの引き加減で降下スピードを調整します。

始業点検・定期点検

作業の安全と機械の性能を維持するため、始業時および、定期(月次/年次)に、下記の点検を実施してください。

〈無負荷で正常に作動するか確認した後、負荷テストをしてください。〉

点検内容

- フレーム各部に金属疲労、ひずみ、異音はないか
- 各部のボルト、ナットにゆるみはないか
- 回転部分、メタル、ブッシュに異常摩耗はないか
- 回転部分のグリスアップはされているか
- ブレーキは正常に作動するか
- リフトの昇降動作、機能に異常はないか
- 油圧装置(シリンダー、オイルタンク)の油漏れはないか

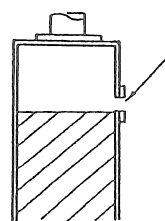
■ ポンプのオイル交換は年一回

ポンプオイルは漏れない限り半年から1年位は補給不要です。オイルの取替、補給の際は次のオイル又は同等品を使用ください。

出 光 石 油	ダフニースーパーハイドロWR22
日 本 石 油	ハイランドワイド22
シ ェ ル 石 油	テラスオイルT22
コ ス モ 石 油	コスモハイドロHV22

※ブレーキオイル使用厳禁

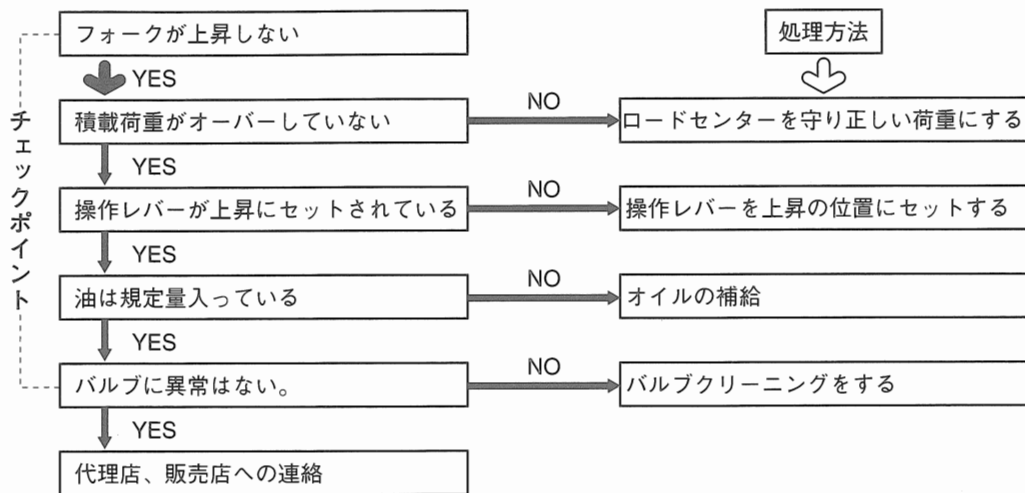
■ オイルの適正油量



ピストンを降した状態でオイルプラグ口迄あれば適量です。

(オイル量は約 0.5ℓ)

フォークが上昇しない時の処理



O.P.K 株式会社 **をくだ屋技研**

本 社 〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上263
TEL.(072)362-2111(代) FAX.(072)362-2115

東京支店 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂1-12-32
TEL.(03)3424-5851(代) FAX.(03)3424-5853

仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6-7
TEL.(022)296-1207 FAX.(022)296-1208

高崎営業所 〒370-0843 群馬県高崎市双葉町13-1
TEL.(027)327-3867 FAX.(027)327-1453

名古屋営業所 〒463-0017 名古屋市守山区喜多山1-6-22
TEL.(052)794-8812 FAX.(052)794-8814

岡山営業所 〒700-0927 岡山市西古松1丁目18-8-101
TEL.(086)242-5500 FAX.(086)242-5501

福岡営業所 〒816-0094 福岡市博多区諸岡1-19-27
TEL.(092)581-8400 FAX.(092)581-8333

無断転載禁止

H19.1.500®